

教科	理	科	科目	地学基礎	学年	第 1 学年	系列 コース	共通
単位数	2	単位	教科書	高等学校 地学基礎（数研出版）				
副教材	リードLightノート 地学基礎(数研出版)							

1. 学習の到達目標

(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
(2) 物事や事象に対する的確で正確な判断力を養うと同時に、地学的な考え方の修得を目指す。
(3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

2. 評価の観点

①知識・技能	地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、実験や観察の基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
②思考・判断・表現	地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
③主体的に学習に取り組む態度	地球や地球を取り巻く環境について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、課題解決に向けて粘り強く学習していくことができる。

3.学習の計画

学期	月	週No.	学習項目(単元)	学習内容	
1 学期	4月	1	第1編 第1章 地球の構造 1. 地球の形と大きさ 2. 地球の構造	地球の形と大きさの測定のしかた、地球内部の層構造を理解する。また、地球内部は構成物質の違いや、変形のしやすさによる違いから、いくつかの層に分けられることを理解する。 地球の表面は、プレートでおおわれており、その境界で様々な地殻変動が起こることを理解する。また、プレート運動の原動力についても理解する。	
		2			
		3			
		4			
	5月	5	第2章 プレートの運動	1. プレートテクトニクスと地殻変動 2. プレート運動のしかた	地震発生のしくみを、プレート運動と関連付けて学ぶ。また、地震波の性質や、プレート境界と地震の分布の関係についても理解する。さらに、日本付近で発生する地震について理解を深めるとともに、地震によってどのような災害が発生し、どのような対応が必要かを理解する。
		6			
		7			
		8			
	6月	9	第3章 地震	1. 地震 2. 地震の分布 3. 地震災害	火山噴火のしくみ、多様な噴火活動と火山地形、マグマが発生するしくみを学ぶ。また、火成岩の特徴や分類についても学ぶ。さらに、日本における活火山を知り、火山災害への対応だけでなく、火山の恩恵についても理解する。
		10			
		11			
		12			
	7月	13	第4章 火山	1. 火山活動 2. 火成岩 3. 火山がもたらす恵みと災害	
		14			
		15			
		16			
2 学期	8月	17	第2編 第1章 地層の形成 1. 堆積作用と堆積岩 2. 地層の形成	地球環境と古生物は互いに影響を及ぼしあって変遷し、現在の姿があることを理解する。その学びの中で、地球環境や古生物について調べる方法や地質時代の区分のしかたを理解し、時間の長さを感じ覚にとらえる。また、人類の進化についても学ぶ。	
		18			
	9月	19	第2章 古生物の変遷と地球環境 1. 化石と地質時代の区分 2. 古生物の変遷	地球の大気が、気温の変化から4つの層に分けられていることを理解する。特に、対流圏で様々な気象現象のほとんどが起きていることを学ぶ。また、太陽放射エネルギーと地球のエネルギー収支について理解する。地球の自然環境は、地球のエネルギー収支のつりあいの上に成り立っていることを学ぶ。	
		20			
		21			
		22			
	10月	23	第3編 第1章 地球の熱収支 1. 大気の構造 2. 地球全体の熱収支	大気や海水の大循環は、緯度方向の熱収支の不均衡を是正するためのものであることを理解する。また、長い時間をかけてめぐる海洋の鉛直方向の循環を学ぶ。	
		24			
		25			
		26			
	11月	27	第2章 大気と海水の運動 1. 大気の大循環 2. 海水の運動 3. 日本の天気と気象災害	日本の各季節の天気の特徴を理解し、気象災害について学び、防災に役立てる。	
		28			
		29			
		30			
12月	31				
	32				
	33				
	34				
3 学期	1月	35	第4編 第1章 地球の環境と日本の自然環境 1. 気候の自然変動 2. 人間活動による環境変化 3. 日本の自然環境	地球を構成する様々な環境には絶えず相互作用があることを踏まえ、気候の自然変動や人間活動による環境変化を、全地球的な空間スケール、および長期的な時間スケールでとらえて理解し、考える力を身につける。また、日本は、特徴的な地形や気候によって、豊かな自然環境が育まれていることを理解する。一方で、多発する自然災害に対応する必要があることも学ぶ。	
		36			
		37			
		38			
	2月	39	第5編 第1章 太陽系と太陽 1. 太陽系の天体 2. 太陽 3. 太陽系の誕生と現在の地球	太陽系を構成する天体について理解を深める。惑星の特徴、太陽の活動について学ぶ。また、太陽および太陽系の形成過程を学び、地球に生命が誕生した要因を理解する。	
		40			
		41			
		42			
	3月	43	第2章 宇宙の誕生 1. 宇宙の誕生	銀河系の構造を理解し、その中の太陽系の位置を学ぶ。また、ビッグバンで始まった宇宙の誕生と変遷を学ぶ。	
		44			
		45			

4. 評価の方法

総合的に定期考査の得点に加えて授業態度、小テスト等日々の学習活動について、各評価の観点（①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度）ごとに評価する。学年末の成績は、各学期の成績をもとに算出する。